

ENOG13 Meeting
パネルディスカッション

地域活性化とENOGの果たすべき役割

2012年2月17日

ENOG運営委員／株式会社グローバルネットコア
金子 康行

<yasuyuki.kaneko@global-netcore.jp>

パネリストご紹介

- 道向 新 様
 - アカマイテクノロジーズBV
- 石田 慶樹 様
 - 日本インターネットエクステンジ株式会社 代表取締役
- 近藤 邦昭 様
 - 株式会社まほろば工房 代表取締役
- 本間 誠治 様
 - 越後ネットワークオペレーターズグループ(ENOG) 会長
 - 株式会社新潟通信サービス 代表取締役

まずは、自己紹介

- お招きしたパネリストのみなさまのお立場やお仕事について、各5分で。
- 道向さん → 石田さん → 近藤さん
- よろしくお願ひします。

ディスカッション

- Echigo-IX について
 - 地域IXの役割と意義、可能性
- ENOG について
 - 地域NOGの役割と意義、可能性

期待、注文、叱咤激励、苦言など、
忌憚のないご意見をお願いします！

ディスカッション I

- Echigo-IXについて
 - 新しい地域IXの姿
 - コンテンツキャッシュポイントとしての活用
 - 地域情報流通基盤、災害対策
 - 首都圏商用IXや、他の地域IXとの関係
 - 連携？棲み分け？
 - ビジネスモデル・産業振興
 - 地域IXが事業として成立するためには
 - 地域IXが地域の産業を振興するためには

ディスカッション II

- ENOGについて

- コミュニティ活動の重要性

- 技術者育成、発掘、誘引、モチベーションアップ
 - 他コミュニティとの連携（他分野、県外、国外）
 - 産官学連携、地域貢献

- ビジネスへの発展

- 新たな事業や産業の創造、地域活性化
 - 地域のニーズ、地域目線でのサービス開発

ENOGが目指す好循環

仲間を増やす

人材需要

やいがい

質的向上

地域の魅力
活性化

たのしい

交流・刺激

切磋琢磨

活動発展

仕事を増やす

おもしろい

ありがとうございました

会場のみなさまからのご意見も大歓迎です
力をあわせて地域を盛り上げましょう！

そして続きは懇親会で・・・

ENOG13 Meeting
パネルディスカッション

地域活性化とENOGの果たすべき役割

パネリスト事前アンケート回答

ENOGやEchigo-IXの活動を知って、率直なご感想

- 地域コミュニティを活性化させることは大変良いことだと思います。地域内でしかできない情報交流もあるでしょうし、なによりこのようなコミュニティを通して技術的な下支えと切磋琢磨できる環境ができることが素晴らしいと思います。(近藤)
- ENOGについては、おもしろそう。Echigo-IXについては、最初名前だけ聞いた時は今更地域IXなのかというのが正直な気持ち。しかし、後で詳しく聞いたところでは、ちょっといいかもと思いました。Echigo-IXは地域のISPが主体となってボトムアップで構築されており、最近のインターネットのトレンドともあっているCDN(キャッシュ)を接続している点にあります。(石田)
- 地方にいて、こんなに活動できるのかと驚いた、というのが正直な感想です。私個人の問題かもしれませんが、東京にいたとしてもこれほど活発に意見交換するのは難しいです。(道向)

ENOGやEchigo-IXに期待すること、こうなったら面白い

- 新潟だけではなく、地域社会には隠れた天才が多く眠っています。これらを引きずり出して、世界への懸け橋となると素晴らしいとおもいます。また、新たなビジネスモデルの提案ができるくらいになると面白いですね。やはり、地域からしか出ないニーズなどもあるとおもいますので。(近藤)
- ENOGについては、技術主体、運用主体のグループとしての活動の継続。Echigo-IXについては、IPv6等にCDNをキーとして積極的に取り込んでいくような動きがあると面白いと思います。(石田)
- 新潟を本拠地にしている団体や企業もたくさんあるので、それらのサーバは新潟県内で、配信を私たちができれば有り難いです。コンテンツの置かれているサーバの管理者が新潟県内にいれば、サーバも新潟県内のほうがいいですね。まあ、新潟から外部への接続が切れると大変ですが。(道向)

ENOGやEchigo-IXに危惧すること、こうなったらつまらない

- 集まって愚痴を言うだけの団体になってしまうことがよくありますが、それはつまらないので、そうはなってほしくないです。(近藤)
- ENOGについては、一番の敵はマンネリ化でしょうか。Echigo-IXについては、一部の地域IXがやってるような回線の共同調達モデルになってしまうことを危惧しています。さすがにそれはないと思います。(石田)
- あまり『新潟県』という単独の行政区分にはこだわらなくてもいいと思います。やっ
てることには普遍性があるように思えますので、これを北海道や九州でやったら
どうなるか、外国でやったらどうなるかと考えながらやって欲しいです。Think
Globally, Act Locallyです。(道向)

その他自由意見あれば

- 頑張ってください。(近藤)
- 新たなインターネット・アーテクチャのプロトタイプとなるような何かが新潟から生み出せれば面白いのではないかな。(石田)
- 前述のように、これだけ活発な活動がなされているのは素晴らしいと思います。地方のISPはトランジット料金を少しでも減らしたいのだということを表明されることだけでも、寡占状態にあるトランジット事業者への重要なメッセージとなっていると思っています。皆さんが問題だと思われることは、他の地域でも問題だと思われると思いますので、是非情報発信を継続していただきたいです。(道向)